



始

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80 1 2 3 4 5



授教校學樂音京東
作昌一九吉士學文

歌習作新

集五第

行發館文敬



304
330

#115
868

雲雀

本居長世氏作曲

$\text{♩} = 144$
mf

1. アク - ビーノ - ヤウ ナカセ - ガ吹ク。 ユー
2. ひば - リーの - こゝろ がすゝ かな - やう - だ。 やう

mf

メ - 路 - ノ - ヤウ ナ、野ヶ見 エル。 木
- だ - が、ごう - も、日に見 えぬ。 何

pp

pp

△ イ、ネム イハル ノ日 ナ、サツ、氣ミ
處 のそら にかく れん ぼ、らう、ざれ

f

大正
7.25
内交

緒言

一、本書は「幼年唱歌」改題「新作唱歌」の第五集なり。
一、集中歌むる處の獨逸民曲の合唱曲二篇は、共に、東京音楽學校學友會音楽演奏會の爲めに作歌したるものなり。
一、ピアノ曲、オルガン曲は、同曲なれば合奏するに適せり。此選曲は楠美教授の厚意によれるなり。謹んで謝す。

大正二年七月十七日

青葉朝日に輝く處にて
萬古刀庵主人 吉丸一昌識す

第五集目次

- 一、雲 雀 (本居長世氏作曲) 中等學校程度
- 二、光 (梁田貞氏作曲) 中等學校程度
- 三、木がくれの歌 (船橋榮吉氏作曲) 中等學校程度
- 四、鳥 (樋口信平氏作曲) 小學校程度
- 五、故郷を離るゝ歌 (獨逸民曲) 小學校程度
- 六、僧院の庭 (同上) 合唱曲
- 七、ピアノ曲 (露西亞合奏民曲) 器樂曲
- 八、オルガン曲 (露西亞合奏民曲) 器樂曲

一 ヤカノヒバリ カ ナヒバリーカー ナ
 一 まいぞあげひ ば りあげひーばー り

※ 第一節の歌の時は上の音符、第二節の時は下の音符にて唱ふべし。

(大正三、五、十二、作歌
全六、十七、日、夜、修正)

一、 欠^か伸^のの やうな 風^かが 吹^かく。
 夢^の路^のの やうな 野^が 見^える。
 眠^いく 春^のの 日^を。
 さ て 氣^短の 雲^雀か な。
 二、 雲^雀の 聲^がす る やう だ。
 やう だ が 何^とも 目^に見^えぬ。
 何^と處^の空^に 隠^れん ば。
 も う 戯^れま い ぞ 揚^ぎ雲^雀。

雲雀

光

梁田貞氏 作曲

Andantino. S.

1. オ ホ ソー ラ ト ソ タ ル
 2. つ き が ー げ ほ し か げ
 3. セ イ キー ノ ヒ カ リ チ

日ノヒリカニ、モノミナイノチナ
 ひかカカリて、ウカガヤ一真一シ
 カ有カリカニ、

ナガラフナリセイヤノカガヤキ
 しるべあリセリ上ノカカリ
 イヨミケケ一若キ

世ニアノバゾヒトノ世ヤスケク
 がエモ失セ一ゾヒトノ世みちをば
 消エモ失セ一ゾヒトノ世

スゴサル一ル。ル。
 あやハマル一ル。ル。
 子ハマル一ル。ル。

左 右 左

光

一、大空とわたる日の光に
 物皆いのちをながらふ也
 正義の輝世にあればぞ
 人の世安けく過さるゝ

二、月影星影ひかりありて
 海山たごるにしろるべあり
 良心光にかゝやきてぞ
 人たる道をばあやまたぬ

三、正義の光を高くか、け
 かゝやく良心いよ磨け
 若しこの光の消も失せば
 即ち人の世終るべし

(大正元、十二月十八日作)

木がくれの歌

船橋榮吉氏作曲

♩=78
Andante.

Andante. 軽

p

mp *mf*

1. ア ナ 葉 ヲ カ 葉 ノ コ
2. か べ は さ わ ぎ で げ

p

mp

ノ シ タ ミ ー ナ チ カ ナ ハ 見
に あ ま が ー へ る か な た

mf

エ ネ ド フ シ ナ モ ー シ ー ロ ー タ
な た に 鳴 く こ こ 点 一 き ー ー た

mf

ハ ナ ー シ ム ー タ ー ヴ
の る る び し

mf *f* *p*

ニ コ エ ウ ナ ー 揚 ゲ テ ミ
く 日 も 暮 れ 一 行 け ば じ

* ヲバカリノ、聞ケ! ヲタカ行ク 一。聞ケ 一!
 そりびーそりの、聞け! うたが行く 一。聞け 一!
 8va...
 ヲタカ行ク 一。カヘルガ 鳴リカラ、カヘ
 うたが行く 一。かへるが 鳴くから、かへ
 poco rit.
 poco rit. piu.....p...
piu p.....pp a tempo.
 ロッ、カヘ ロッ 一。
 ろっ、かへ ろっ 一。
a tempo. pp
 FINE.

木がくれの歌

一、青葉若葉の木の下道を、影は見えねご節おもしろく、
 話交りに聲うちあけて、三人ばかりの聞け、謠が行く

『蛙が鳴くから かーへろッ』

二、風は騒ぎて實に雨蛙 かなた此方に鳴く聲聞え、
 心寂しく日も暮れ行けば、一人一人の聞け、謠が行く。

『蛙が鳴くから かーへろッ』

(大正二、四、十三、正午脱稿)

鳥

樋口信平氏作曲

1. うらの は たけ に、 からす が 下りて、
 2. モ ノ ナ 投 ゲル ノ イキホセ スレバ、

さ わぎ の の しる 真似まじりや。
 ソ レハ ツア テノ 眞似ニテソコト。

ほ うご 追 へごも、 尻目に見やり、
 フ イト、 飛 ビテハ、 小 エダニ トマリ、

ハハミ 他 處 向 け 笑 聲。
 ハハミ 他 處 向 け 笑 聲。

鳥

一、裏の畑に鳥が下りて、
 さわぎの、しる忌々しさや。
 ほうご追へごも、尻目に見やり、
 へへご笑ふや、腹の底。

二、物を投るの勢すれば、
 それは、礫の真似にて候と、
 ついご飛びては、小枝にこまり、
 ハハミ他處向く笑聲。

(大正二、五、二三、作)

故郷を離るゝ歌

獨逸民曲

Mässig. *p* *dim.*

1. 2. 3.
 ノクコ ノクコ
 小橋立 百みち 合しテ
 ナカサ アカウ シ邊バ コトト カヤカ キシカ 根ろレ ノのチ ナも音 ゲリゲ

dim.

ナ手ム ナ手ム
 ノのニ リギカ ハナツ ナヤシ ルトム ムはサ ガガル ナ小フ ナしノ
 今日マ 日ふマ ハナノ 十約カ レリゲ 一ニ

dim. *f*

サラバ、フルサー
 スヨリ、タ見タ ヒソレ ナレゲ ザはソ ヒあタ ミれチ ナわ落 へる目 モカフ リよレ

pp *cresc.* *p* *cresc.* *f* *p*

ト! サラバ、フルサト! サラバ、フルサト! フルサト、サラバ。

故郷を離るゝ歌

一、園の小百合、撫子、垣根の千草、
 今日汝をながむる最終の日なり。
 おもへば涙、膝をひたす

二、つくし、摘みし岡邊よ、社の森よ、
 小鮎、釣りし小川よ、柳の土手よ、
 別るゝ我を憐れ見よ

三、此處に立ちて、さらば、別を告げん、
 山の陰の故郷、静に眠れ、
 さらば故郷、さらば故郷、故郷さらば、
 さらば故郷、さらば故郷、故郷さらば、

(大正二、六、十九、土曜演奏會の爲めに)

僧院の庭

p 啼 ヲ ト リ ハ ト ホ キ, *mf* テ ラ ノ

f ニ ハ ノ マ ヒ ル, エ ダ ナ, 葉 ナ,

pp 漏 レ テ サ ス *mp* マ ー ダ ラ ビ ノ カ ゲ

ff ニ, *p* 不 圖 見 レ ナ カ ゲ ラ フ

モ ー ツ レ 行 ク ミ ダ ヲ

啼く鳥は遠き
 寺の庭の眞晝
 枝を葉を漏れてさす
 班日の影に
 不圖見るや
 陽炎の
 緜れゆく亂れ

僧院の庭

(明治四十五年五月東京音楽学校學友會の爲めに作る)

ピアノ曲
(原名 DER ROTE SARAFAN.)

露國民曲

Andante con moto.

注意 此ピアノ曲は次のオルガン曲と合奏曲たるを得べし。

オルガン曲
(原名 DER ROTE SARAFAN.)

露国民曲

Andante con moto.

The organ score consists of two staves, treble and bass clef, in 2/4 time with a key signature of one sharp (F#). The tempo is 'Andante con moto'. The score is divided into sections marked with dynamics: *p* (piano) and *mf* (mezzo-forte). The piece concludes with a final chord.

幼年唱歌第一集目次

- 一、手毬と紙鳶 (楠美三郎氏作曲)
- 二、めくちん鬼 (大和田愛羅氏作曲)
- 三、お玉ぢやくし (梁田貞氏作曲)
- 四、荷車 (大和田愛羅氏作曲)
- 五、螢狩 (中田章氏作曲)
- 六、瓶つこ (梁田貞氏作曲)
- 七、冬の夜のひゞき (澤崎定之氏作曲)

愈々出て愈々好評!!

幼年唱歌第二集目次

- 一、つばめ (北村季晴氏作曲)
- 二、遠磨さん (本居長世氏作曲)
- 三、鬼の餅春 (奥田基三郎氏作曲)
- 四、飛行器の夢 (大和田愛羅氏作曲)
- 五、水の葉 (梁田貞氏作曲)
- 六、学校ごっこ (北村初子氏作曲)
- 七、春の草、秋の草 (中島かね子作曲)

改題新作唱歌第三集目次

- 一、かみなりさま (水井幸次氏作曲)
- 二、なんだっけ! (大槻貞一氏作曲)
- 三、犬と猫 (澤崎定之氏作曲)
- 四、水の心 (船橋榮吉氏作曲)
- 五、早春賦 (中田章氏作曲)
- 六、二ノ (伊國ヘルトーセ氏作曲)
- 七、春のたそがれ (佛國マラン氏作曲)

新作唱歌第四集目次

- 一、蜜蝋 (獨逸國民曲)
- 二、おち梧 (獨人アエーバ氏作曲)
- 三、蝶鳥 (獨人アエーバ氏作曲)
- 四、あしたの歌 (佛國民曲)
- 五、海邊に立ちて (獨人アエーバ氏作曲)
- 六、牧謡調(オルガン曲) (伊人アエーバ氏作曲)
- 七、ラツパ調(ヴァイオリン曲及びピアノ曲) (英人バール氏作曲)

大正二年七月十八日印刷
大正二年七月二十二日發行

新作唱歌第五集附
〔定價金貳拾錢〕

不許複製及轉載

著者 吉九一昌
發行者 東京市神田區小川町四十一番地 櫻村喜久太郎
印刷所 東京市京橋區木挽町三丁目四番地 合名大道社
印刷者 東京市京橋區木挽町三丁目七番地 岸山芳太郎

發行所 東京市神田區小川町四十一番地 散文館
電話本局四八五五番
振替東京一三三三六番

特115

868



終